101-45

問題文

体内動態が線形1-コンパートメントモデルに従う薬物を経口投与した場合、最高血中濃度到達時間が遅延する原因として正しいのはどれか。1つ選べ。

- 1. 吸収速度定数の増大
- 2. 投与量の低下
- 3. 分布容積の低下
- 4. 消失速度定数の低下
- 5. 吸収率の増大

解答

4

解説

経口投与での 1-コンパートメントモデルなので「吸収コンパートメント」 と「中心コンパートメント」 が 仮定されます。

はじめはどんどん、吸収→中心 へと薬物が移行します。中心からは、薬物が少しずつ体外へ排出されます。 最高血中濃度に到達するのは吸収コンパートメントにおいてだんだん薬物が少なくなり、吸収側→中心側 へ と薬物が移行する速度が、中心側→体外へ排出 する速度と等しくなる時です。それ以降は、中心側→体外へ 排出 する速度の方が大きくなり血中濃度はだんだん減少していきます。

経口投与の1コンパートメント なので

『 **t** max = In(ka/ke)/(ka - ke) 』 が公式でポイントです。式の中にある変数が ka(吸収速度定数), ke (消失速度定数)なので、ka,ke が変化した時に t max は変化します。以上をふまえて、各選択肢を検討します。

選択肢 2,5 は変化しない選択肢です。

投与量、吸収率が変化しても、ka,ke は変化しません。よって、tmax も変化しません。

選択肢 1 ですが

ka が増えると tmax は減ります。吸収速度定数が増えているのだから、急速に血中濃度が上がって、Cmax に到達するだろうと考えられるためです。Cmax 到達が速くなれば、tmax は短くなります。

選択肢 3 ですが

CL = ke · Vd なので、Vd が低下すると、CL↓や ke ↑ が考えられます。もしも ke ↑ となると、tmax は短くなります。また、必ずしも ke ↑ と判断することもできません。よって、選択肢 3 は正解ではありません。

以上より、正解は4です。

ke が低下すれば、なかなか消失できないため、吸収側→中心側 へと薬物が移行する速度が中心側→体外へ排出 する速度と等しくなる時間が遅くなると考えられます。すなわち、tmax が大きくなります。